

## 活動報告

|            |   |
|------------|---|
| 団体名        | 認定NPO法人 シャプラニール=市民による海外協力の会   |
| 活動名        | 福島県いわき市における台風19号被災者の緊急救援活動  |
| 活動期間       | 2019/10/13~2019/10/31   |
| 活動の成果      | <p>台風19号の発災直後は全国のシャプラニール会員の安否確認を行いながら、連絡の着く方には周囲の被災状況などを調査した。また旧活動地のいわき市に到着後は、主な行政におもむき、市の動きも確認した上で、事前に調査していた民間組織による活動や住民からのニーズを聞くことができる場所（今回の場合は常勝院や「おすそ分けサロン」、シャプラニール会員等）での活動に専念した。市からの物資配給に限界があった（水や土のう袋等の無料配布はあった）為、まずは断水している地域への物資提供や配布支援を行った。その中で住民から話を伺い、現地で一番必要とされていたレトルト食品やお茶等の物資等の支援も行った。主にシャプラニールが活動を行った平窪地区では、支援活動を行った民間グループ（支援側）も被災者だったが、「自分たちができることをしたい」と立ち上がり支援活動をしていた。シャプラニールの支援する「支援からも取り残された人々」（例えば高齢者独居世帯、健康状態によって支援や情報に届かない方）へのサポートだったこともあり、そのあと押しとしてサポート支援活動を行った。またいわき市社会福祉協議会を通じて、いわき市災害ボランティアセンターを訪問し、ボランティア活動の現状を調査した。立ち上げから間もないこともありボランティア数が極端に少なく、被災者からのニーズに答えられる活動が思うようにできてないことが分かった。シャプラニールとしてはボランティアツアーを企画し（11月に2回実施）。結果参加者からはまた災害ボランティアとして被災地に行く、との声も上がり、想いはあるがボランティア活動に対し不安に思っていた参加者へ参加の機会を創出することができた。</p> |
| 寄付者へのメッセージ | <p>皆さまの温かいご寄付をいただき、まことにありがとうございました。ご寄付のおかげで、発災直後の緊急救援の時期でも現地のニーズをに合わせた活動を進めることができました。継続的な支援を続けるためにも、いち早くご協力をいただきましたこと改めて感謝申し上げます。貴重なご寄付、本当にありがとうございました。</p>   |

（活動のようす）

